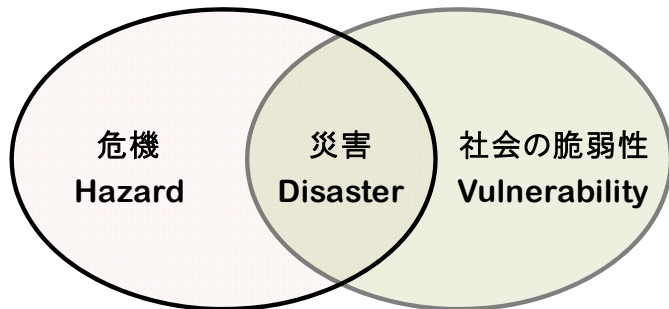


Suring Guardian シュアリング ガーディアン

新しい災害観と災害へのアプローチによるシンプルな知識認定制度の提案

What is Disaster? 災害って?



災害とは何でしょうか。

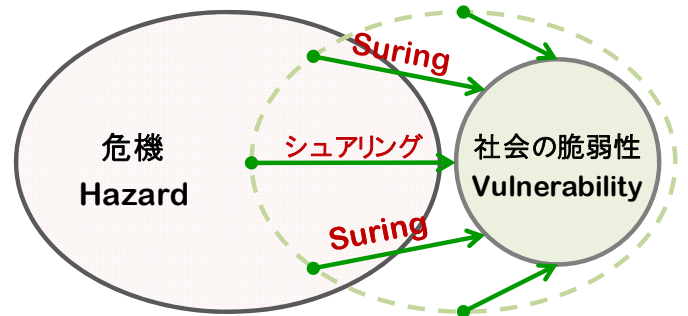
この事を考える際に、災害がなぜ起こるかについて、次の定義を用いて理解することが重要となってきます。

(定義) Disasters occur when hazards meet vulnerability.

「災害は、危機が脆弱性と出会うことで起こる」

地震や津波、台風、洪水、火山噴火、地滑り、伝染病、大規模事故、干ばつといった危機(現象)そのものが災害ではなく、社会の様々な要因が脆弱性として形成され、それが危機を引き金に災害として顕在化するということを表しています。

What is Suring? シュアリングって?



災害は危機が脆弱性と出会うことで起こると理解できた時、私達は初めて災害に対して立ち向かう事ができると思うのです。

人の手には負えない地震や火山噴火などの危機に対してどうするかではなく、私達の社会に存在する様々な脆弱性が、危機と出会わないように何をするか。そのために、信頼できる社会を創ってゆくことが大切になってくると考えています。

この信頼社会を創ってゆく活動の事を、『シュアリング』と呼びます。シュアリングとは、SURE(確かな)に行動を表す-ingを付けたものです。

How to be Suring Guardian? シュアリングガーディアンになるには?

SG(シュアリングガーディアン)の2段階知識認定制度

名称	知識の範囲	経験	講習	教材	有効期間
SGD シュアリングガーディアン・デザイナー	SGガイドブック	学歴・実務経験は問いません	3時間の研修	SGガイドブック	5年間毎の更新
SGP シュアリングガーディアン・プロデューサー	SGガイドブック	SG知識認定取得者	3時間のワークショップ	SGガイドブック シュアリングノート	5年間毎の更新



Concept Essay : Breath to the future いのち思いの ガーディアン・プロデューサー

生き続けてほしい、大切なひとのための危機管理。

・万が一の災害時にも、「絶対に生きてほしい、大切な人」を守りたい。

・そのために、日々できることを思うこと。

それが、ガーディアン・プロデューサーの役割です。

あなたの大切な人の、ガーディアン・プロデューサーになってください。

・絶対に、生きていてもらう。

・生き残ったら、すみやかに生活の質を確保してもらう。

そのために日々できることがあります。

生産工程が見えない食べ物、地球環境の変化から起こる予測不能の自然災害、過密化した都市、インターネットという情報世界の手に負えない増殖...

21世紀の地球は、行政が管理しきれない「予測不能の危機」の時代です。

このような時代に、事が起こったときの混乱の中で市民が生き残るためには、「誰かが、誰かを思う」ことこそが、大きな力を発揮します。行政の役割

である管理と統制には大きな力がありますが、それは、所詮「できるだけたくさんの人を救う努力」。「私の大事な人」を絶対に救おうとする感情は、「誰かが、誰かを思う」気持ちにこそ降りてくるもの。

それ自体は、愛と直感のアナログ・パワー。かなり極私的な目線になります。

でも、一人を絶対に救おうとする気持ちがすべての人に注がれれば、それが世界を救うこととなります。

一人が、最低一人の誰かを思えばいい。

誰もが、誰かのガーディアン・プロデューサーになること。

個人にしかできない、最小の危機管理であり、

個人が参加できる、地球規模の危機管理プロジェクトです。

あなたの大切な人の、災害時のQuality of Lifeは、あなた自身にかかっています。

あなたの情報がブアだったら、あなたの大切な人のQOLもブアに。

情報収集も大事なこと。どうか、面倒くさからしないで。

(2008年 黒川伊保子さん「シュアリングブック」に寄せて)